９月１７日から全国の映画館で上映されている「オーバー・フェンス」はご覧になられたでしょうか？

オダギリジョー、蒼井優、松田翔太などの豪華キャストを山下監督が、純粋で不器用な者たちの、愛しくも狂おしい青春を、見事に創り上げた作品でした。

 一般上映前にも、ロケ地函館にて試写会が開催され、監督をはじめ出演者のご挨拶もありましたね。

当ポリテクセンター函館でも、昨年の６月から７月にかけ所内外各所で、ロケを行いました。喫煙所、正門から正面玄関、機械加工実習場、そして住宅建築実習場とストーリーで出てくる訓練校はほとんど当センターでのロケでした。

映画では、細い廊下を抜けると、グラウンドに出る設定でしたが、当センターにはグラウンドはありませんので、グラウンドのシーンは、高盛小学校でロケを行ったようです。

オダギリジョーをはじめ出演者に、当センターの建築系の先生が、演技指導も行っていました。映画の１シーンに、ノミの刃を研いでいるところもありますが、これも演技指導のひとつでした。

この映画の原作は、ご存じのように佐藤康志氏ですが、この物語は、同氏が３５年前、函館の職業訓練校で過ごした日々の経験をもとに執筆した作品です。

その当時を映画化するにあたり、多少は現在の社会情勢に合わせていますが、我々職業訓 練を実施している者が見ると、３５年前は映画のような雰囲気があったかもしれませんが、現在の職業訓練とは全く異なっています。受講生の多様性を理解した上で、全員が希望する仕事に就けるように専門技術の先生方の丁寧な指導、一人ひとりに合わせた就職の支援（キャリアコンサルティング、会ってみたいと思う応募書類、就職講話、面接指導など）、 資格取得のためのフォローアップを行っております。

また、女性の社会における活躍を促進するために、訓練内容の見直し、訓練環境の整備も進めており、明るく清潔な訓練施設づくりに努めているしだいです。

映画に出てきた場所が、当センターには沢山ありますので、どうぞ、ロケ地として見学にお越しいただけますようお待ちしております。

ポリテクセンター函館